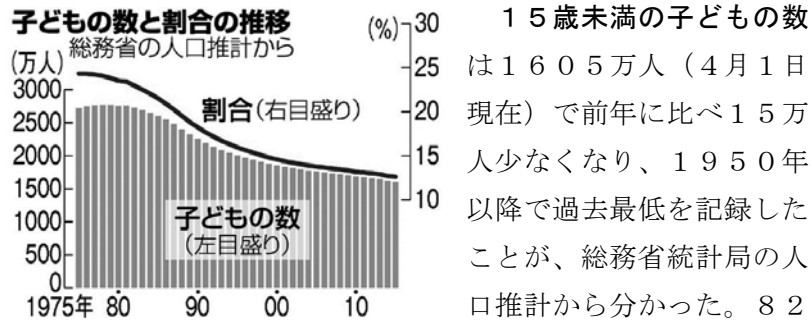




子ども1605万人、35年連続で減少



15歳未満の子どもの数は1605万人(4月1日現在)で前年に比べ15万人少なくなり、1950年以降で過去最低を記録したことが、総務省統計局の人口推計から分かった。82年から35年連続の減少。総人口に占める割合も12.6%と75年から42年連続で低下し、過去最低だった。

5日の「こどもの日」に合わせ、国勢調査を元に推計した。男女別では、男子が822万人、女子が782万人。年齢別では、0～2歳307万人▽3～5歳316万人▽6～8歳318万人▽9～11歳321万人▽12～14歳342万人と、少子化の影響で年齢が低いほど少ない。都道府県別(昨年10月1日現在)では、前年比べて増えたのは東京都のみで1万5千人増の153万3千人。人口に占める割合は沖縄県が17.4%と最も高く、最も低かったのは秋田県の10.6%。

(2016年5月5日・朝日新聞)

平成27年国勢調査・人口速報集計結果

(平成27年国勢調査による10月1日現在)

1 我が国の人口は1億2711万人

平成22年から94万7千人減少、0.7%減、年平均0.15%減
大正9年の調査開始以来、初めての減少

2 人口が最も多いのは東京都で、全国の1割以上を占める

東京都が1351万4千人と最も多く、全国の10.6%を占めている。次いで神奈川県(912万7千人)、大阪府(883万9千人)、愛知県(748万4千人)、埼玉県(726万1千人)、千葉県(622万4千人)、兵庫県(553万7千人)、北海道(538万4千人)、福岡県(510万3千人)などと続いている。人口上位9都道府県を合わせると6847万3千人で、全国の5割以上(53.9%)を占める。また、東京圏(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県)の人口は3612万6千人で、全国の4分の1以上(28.4%)を占めており、5年前に比べ50万8千人増加している。一方、最も少ないのは鳥取県で57万4千人となっている。

3 8都県で人口増加、39道府県で減少(平成22年～27年)

人口が増加…沖縄県(3.0%)、東京都(2.7%)、愛知県(1.0%)、埼玉県(0.9%)、神奈川県(0.9%)、福岡県(0.6%)、滋賀県(0.2%)、千葉県(0.1%)、

人口が減少した39道府県についてみると、大阪府が増加から減少に転じ(0.5%から-0.3%へ)、福島県が-3.0%から-5.7%へ2.7ポイント拡大した。